

株式会社 味菜(みらい)

会社概要

- 所在地 塩釜市新浜町三丁目109番31号
グループ親会社 株式会社やまやコミュニケーションズ
福岡県福岡市東区松島五丁目27番5号
- 事業内容 辛子明太子製造及びその他水産品製造
- 従業員数 93名 ○創業 平成19年9月27日

谷口工場長



治療と仕事の 両立

病気を抱えた労働者の「治療と仕事の両立」をどのように支援されましたか

会社の健康診断で、ある従業員に「がん」が発見されました。本人から病気の報告があった時に、仕事の事は気にせず、まずは自分の身体を大事にして、治療を優先して下さいと伝えました。本人は治療をしながら就労の継続を希望しましたので、本社と相談し、勤務時間を1日7Hから5Hに変更し、通院しながら働き続けられる体制を整備しました。その後、宮城産業保健総合支援センターに相談し、センターから専門家を紹介してもらい、両立支援プランの作成やアドバイスを頂きました。

周りの従業員と情報を共有し理解を得るようにして、本人の体調が悪い時には、休憩室で休めるようにする等、職場で支援する体制を整えました。

次第に体調が悪化し、工場での立ち仕事が困難になってくると、事務所勤務に変更する等の対応を行いました。本人は「会社に来ることが生きがい」と話し、両手に杖をつけて出勤するなど懸命に仕事に取り組みました。残念ながら平成30年3月に亡くなりましたが、会社としてはできる限りのことをしたと考えています。

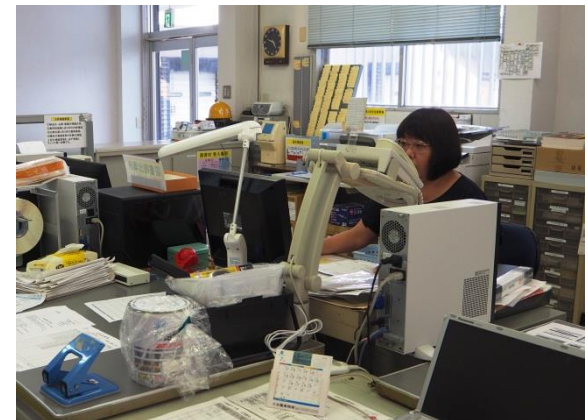
会社と従業員の 信頼関係

会社が取組まれた結果、他の労働者に何か変化はありましたか

このように会社が、職場の皆で治療と仕事の両立に取り組もうとする姿勢を打ち出して取り組んだことは、従業員が健康の重要性について認識を高めることにつながり、健康診断の受診率・再検査受診率100%につながりました。

そして何よりも、従業員から「会社が自分たちの事をきちんと考えてくれているのが、とても嬉しい」と言われるようになり、働き続けられる職場の環境づくりをすることで、従業員のやる気や、会社との信頼関係の向上につながったと感じています。

事務所内の様子



人材定着

人材定着を促進するために工夫されていることはありますか

労働者の治療と仕事の両立に取り組んだ経験を活かし、今では親の介護が必要になった場合でも、勤務時間を変更する等の対応を行っております。また、多様な労働時間制度を導入し、13種類の勤務時間帯を設定して、労働者の希望する勤務時間で働いてもらっています。

出勤管理に手間はかかりますが、各人の抱えている事情は様々なので、会社としては可能な限り配慮を行っております。このように働きやすい環境を整えた結果、離職者が少なくなり、募集もハローワークへ求人を出せばすぐに集まる状況となり、募集には全く苦労しなくなりました。

生産性向上

労働者の働きやすい職場環境づくりに取り組んだ中で、売上げはいかがでしたか。

工場の従業員は以前は150名位でしたが、現在は90数名位になっています。従業員は減りましたが生産量は1.5倍程度に増えています。生産性が向上した原因は設備投資も行っていないので、人材の定着にあると考えています。

人材が定着し、平均勤続年数（経験年数）が長くなってきたため、例えば、タラコパックを以前は40個程度作っていた人が、現在は同じ作業時間で100個以上作れるようになるなど、スキルが向上し作業速度が速くなりました。人材が定着してきたことと、従業員と会社との信頼関係が強まり従業員のやる気が高まったことの結果、一人一人の生産性が向上し、少ない人数でも生産量の増加ができるようになったと考えています。

工場内の作業



外国人・障害者など

外国人労働者や障害者雇用も積極的ですが、困っていることはありますか。

留学生や技能実習生を雇用していますが、総じて勤勉で優秀です。日本人と待遇上の差別をせず、また生活習慣の違いなどは丁寧にフォローをすることで、貴重な戦力になってもらっています。また、4名の障害者を雇用しておりますが、特に困っている事はありません。工場内では様々な仕事があり、出来ることを担当してもらっています。

今後は

今後はどのような事に取り組まれるのでしょうか

今後、育児や介護や治療などと仕事の両立をする必要のある従業員について、時間単位での有給休暇の取得を検討しています。今後も従業員が働きやすい環境作りを進めていき、働き方改革になお一層強力に取り組んでいこうと思っています。